

海洋体験セミナーin 佐久島 報告書

日程 平成21年8月2日（日）～8月3日（月）

場所 愛知県一色町佐久島

8月2日（日）雨が少し降る中、参加者45名と引率指導者5名で海洋体験セミナーin 佐久島がスタートしました。

初日の天気予報は「雨」で、本当に予定していたメニューが出来るのか不安で仕方が無かったのですが、出発から気持ちを高め、自己紹介、海の安全教室（紙芝居とリーフレットの配布）を行いながら、安全に楽しく旅ができるよう学習しました。

10時ごろ一色港に着くと雨も上がり、少し青空が顔を出しました。一色町B&G海洋センターの高須氏も港でお出迎えしてくださり、指導者もここで少し気持ちも晴れ、連絡船に乗り込みました。船の中（特にオープンデッキ）では、水しぶきを上げて進む船に大はしゃぎ。カモメたちも出迎えしてくれました。

一色港へ着くと空もしっかり晴れ、民宿の方をはじめ島の方が歓迎旗と大漁旗でお出迎えしてくださいました。子供代表の伊藤君もしっかり挨拶をし、島での活動がスタート。

まずは宿で手持ちのお弁当を食べ、着替えてビーチに集合。安全のため準備運動をしっかり行い海水浴へ。水で遊んだり、砂風呂に海草を並べたりして楽しみました。この間に一部の監視の指導者以外の指導者と宿の主人でカヌーや救助艇の支度をしました。

続いては班に分かれて、カヌーとインタープリテーションと漁船体験。カヌーはバディーを作り、バディーの安全を確認しながら交代で楽しみました。インタープリテーションも音を感じたり、生物を観察したり、貝殻を使って大きさ等を競うシェルルじゃんけんや貝殻のアート作成など、新しい海の楽しみ方を学びました。また、今回の一大イベントの漁船体験は船長さんの指示で漁船の運転が出来、その難しさと楽しさを感じたようでした。最後はみんな協力して片づけをし、宿へと戻りました。

宿ではお風呂に入って待ちに待った夕ご飯。担当者のわがままを聞いてくださり、一色特産のうなぎや海の幸がたっぷり。たこの丸茹は悪戦苦闘しながらおいしく食べました。

食事の後は海辺に出て夜光虫の観察。雨が降ると海水の塩分濃度が下がり、おそらく見えないだろうという話でしたが、ここでまたラッキー、とてもよく見えました。また波の音を聞いたり、灯台を眺めたり、盛りだくさんの学習をしました。

この後は宿に戻って子供たちを寝かし、スタッフミーティングを行い、2日目の安全と運営方法などを打ち合わせました。

2日目は、朝食後荷物をまとめて、班毎にアートピクニックへ出発。佐久島は島中にア

ートがあり、そこにスタンプがあり、集めてくるというもの。仲間との絆を深めながら、また島の方との交流をしながら約3時間歩きました。中には岸に打ち上げられたスナメリを見たグループもありました。

最後は、お昼ご飯のカレーライスを食べ、退島式。お礼の言葉も子供代表（子供推薦）の寺澤君が立派に話をしてくれました。船の船長さんからは操船がうまく、マナーがよかった子（班で一番よかった4名）を表彰していただき、表書された子供はサプライズにびっくり。その後、記念撮影をし、お別れのテープで島を後にしました。

安全を第1に配慮し、楽しむところは前回で楽しんだこの2日間、参加者は本当に満足したようでした。添付の感想文からも感じる事が出来ると思います。

今回は日本財団の助成金があったからこそ、このような体験をさせることが出来ましたが、このような体験は貴重な財産となるため、今後も何とかして継続してあげられたらと思います。

この報告書は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて作成しました。

海洋体験セミナーin佐久島

平成21年8月2日～3日



観光バスに乗っていざ出発！



雨も上がって、一色港から佐久島へ



バスの中では水辺の安全教室等を実施



船の水しぶきや風に感動



島の人々の歓迎を受け入島



海水浴開始。安全のために準備運動から。



島の人に子供代表として挨拶をする伊藤君



ビーチでは砂風呂に海草のデコレーション付で！



漁船体験のため出港。



水辺のインタープリテーション。目を閉じて聞こえる音は…！？



1人ずつ船長さんの指導の下、漁船を運転しました。



貝殻を拾いました。これを使ってシェルルじゃんけん！



カヌー教室の様子。自分の力でがんばるぞ！



夕食は新鮮な海の幸でいっぱい。



指導者と共にペアカヌーも体験。



恐る恐るたこにはさみを入れる参加者



夜は夜光虫の観察に出かけました。雨上がりでもばっちり見えました。



まるで水に何か魔法をかけたように光ってくれました。



2日目は快晴の中アートピクニックへ



島中にアートがいっぱい。



みんな一緒に歩きました。Stand by me



島の人とも交流しながら島を散策。



海岸も歩きました。なんとスナメリが打ち上げられ、死んでいました・・・



おひるねハウスはみんなの憩いの場所。



楽しかった2日間、島の人へのお礼を言う寺澤君。



島の人のお見送りを受けていざ一色本土へ



漁船の操船とマナーがよかった4名を船長さんが表彰！



最後まで大切にいただきました。



思い出の2日間。参加者みんなで！